

広報 白寿の友

2011 第192号

平成23年4月30日発行



社会福祉法人
巻老人福祉協会



補助金報告

- 入所者の結核予防法に基づく健診は、新潟市からの補助金を受けて実施しています。
- 小規模多機能型居宅介護事業所『七浦の里』の建設は、施設整備及び備品について、新潟市より補助金の助成を受けて開所しました。

2010年度 日本財団福祉車両助成事業完了のご報告

2010年度日本財団様より福祉車両整備助成を受け納車されました。
ショートステイをご利用の皆様を中心に今後も皆様のニーズに応えより良いサービスを提供し、地域福祉の向上に貢献して参ります。ありがとうございました。

事業名：車いす対応車（普通車）の整備
事業完了日：平成23年3月22日
車種：日産キャラバンチェアキャブMタイプ
事業費総額：3,844,800円 助成金額：2,090,000円
施設名称：短期入所生活介護施設白寿荘東
住所：新潟市西蒲区巻甲4370番地



目次

| | |
|--|---|
| 特別養護老人ホーム 白寿荘東 『ブリの解体ショー』『フラダンス』…………… | 2 |
| 特別養護老人ホーム 白寿荘東 『豆まき』『花見～うす桃色に染まって～』…………… | 3 |
| 巻デイサービスセンター 『手芸くらぶ』『桜餅作り』…………… | 4 |
| 巻デイサービスセンター 『名前の由来』…………… | 5 |
| 白寿荘西 『計画停電の対応について』『法話』『不在者投票』… | 6 |
| 白寿荘西 『今、主婦の間で流行の家庭菜園!!』『桜の貼り絵』『ご利用者の昔話』… | 7 |
| ケアハウス 白寿荘西 『3月3日ひな祭り』『出前をとりました』『ケアハウス一般おはぎ作り』… | 8 |

ブリの解体ショー

白寿荘東としては初めての試みとして、ブリの解体ショーが2月に催されました。まな板の周りに皆様集まられ、ブリが解体されるのをご覧になりました。

大きなブリがまな板の上に乗せられると、「わぁ」と歓声が上がりました。板前さんが、その大きなブリを豪快にさばっていくのを、皆様固唾を呑んで見守っておられました。

次々とさばかれていった大きなブリは、みるみるうちにお刺身が変わっていき、脂ののったブリのお刺身はとても綺麗で、ヨダレが出そうになるほどとてもおいしそうでした。

綺麗にさばかれたブリのお刺身が配られると、皆様大喜びで召し上がり、普段あまりたくさん召し上がらない方も、たくさん召し上がっておられました。新鮮でさばきたてのブリは、大変おいしく、皆様からも「おいしいね」という声がたくさん聞かれました。初めての試みだったブリの解体ショーは、皆様の笑顔がたくさん見られたイベントとなりました。



フラダンス

3月の誕生日会に、フラダンスの方々が来てくださいました。普段あまり見ることのないフラダンスに、皆様興味深そうにご覧になっておられました。

フラダンスといえば、やはり花飾り！フラダンスが終わると、皆様に”レイ”と花の髪飾りが配られました。男性の方でも喜んでおられた方もいらっしゃいましたが、女性の方々は特に喜んでおられ、1日髪飾りをつけたままの方や、次の日も花飾りをつけておられた方もいらっしゃいました。

花飾りをつけた皆様の顔には、たくさん笑顔が見られました。



豆まき



毎年恒例の豆まきが2月3日に行われました。鬼に扮した職員が皆様の前に現れると、びっくりされている方もいらつしやいましたが、その面白さが格好に、笑い声が多く聞かれました。安全のため、豆ではなく柔らかい玉を使って豆まきが始まりました。鬼に扮した職員に、皆様容赦なく玉をぶつける皆様の顔にはたくさん笑顔が見られ、いいストレス発散になったようです。豆まきが終わると、皆様の好きな甘納豆が配られ、とてもおいしそうに召し上がってられました。今年も無事、招福、悪疫退散ができたようです。

花見 ～うす桃色に染まって～



待ちに待った、中庭の桜が満開になりました。見上げる皆さんの笑顔の中に春が訪れた喜びが感じられますね。

手芸くらぶ

1月12日にスタートした手芸くらぶは、3月から第2弾の作品作りに入りました。今度は「パッチワーク」です。貼る位置を書きこんだ台布に二等辺三角形、正方形に切った柄物パーツを各自のセンスで配色を考えながら貼っていきます。一人一人の台布をつなげていくことで共同制作の大きなタペストリーを作ってもら予定です。縫う作業は敬遠されがちなので、貼ることにした点がポイントです。布を切る作業から利用者さん、ボランティアさんに協力してもらいこつこつ進めています。

手芸くらぶを開始してから、ある利用者さんは自宅でマフラーを編んできたと、デイ利用時に作品を持参し見せてくださいました。うれしい変化でした。若い頃から裁縫が得意だった方もいらっしゃいます。女性利用者さん独特の器用さが引き出せていけたら、またデイ利用の楽しみの一つになっていってくれたらうれしいと思います。

少人数を対象に始めた会なので、一人一人の方とじっくり向き合うこともねらっています。そのためにも、ボランティアの方々のサポートなくしては成り立っていきません。お忙しいとは思いますが、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



桜餅作り



3月13日～3月18日、桜餅作りを実施しました。水にひやかしたもち米に食紅をたらし、電子レンジで加熱した桜色の生地を給食の方に準備してもらいました。各自に生地、餡を配り、丸めてもらいます。昔取ったなんとやら…で皆さん上手に丸めています。桜湯と自身で作った桜餅がその日のおやつとなり、一足早い春を体験しました。



名前の由来

ある日、利用者さんに筆ペンを渡し、「ご自分のお名前書いてください。」とお願いしたところ、「〇〇 宮栄」とカタカナの名前の方が漢字で表記。

「本当は漢字があるんですか？」と質問すると、「私の父親はお宮を作る大工だったから、宮が栄えるという意味でミヤエなの。お寺を作っていたら、寺が栄えると書いてテラエになっていたのかしら？アハハハハ。」

利用者さんでカタカナのお名前の方はたくさんいらっしゃいます。カタカナの組み合わせで色々な名前を良く考えているなあと漠然と感じていましたが、名前の由来をお聞きするとますます奥が深いです。今も昔も一人一人に大切に意味を込めてご両親は名前を付け、大事に育てていくことを改めて実感。しかも説明しながら、冗談もサラッと飛ばすこの方のセンスの良さ…見習いたいです。



新人紹介



多田 恵子

三月末よりデイサービスセンターで働かせてもらっております。

西蒲区の住民になってやや一年。仕事はもちろん生活でも悩み、立ち止まってしまふことが多いです。そんな時に利用者の方々の皆様や地域の方々から声を掛けて頂くと、とてもうれしく何事にも一生けん命取り組んで行けるように感じます。

高齢（？）ではありますが、努力することを忘れず頑張っていければと思います。よろしくお願ひします。



若月 富海子

三月二十五日付けでシヨートからデイサービスに配属になりました若月です。

九ヶ月慣れ親しんだシヨートから離れ大部不安でした。

シヨートの職員の方々にいろいろ迷惑のかけ通しでしたが、とてもやさしく指導して頂き、うれしく思っています。

今は、デイサービスに入り、いろいろな面で仕事しつつ、これからデイサービスの職員の方々と頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

計画停電の対応について ～東日本大震災(3月11日)～



暖房も効きません。そんな時に役立つのは「ペットボトルの湯たんぼ」お湯を入れてタオルで巻いてポッカポカ☆



バケツに水をたっぷり貯めておきます。



棚が倒れてこないようにつかえ棒をしています。

東日本大震災から約2カ月が経ちましたが、未だに強い余震が続いています。ご利用者の皆さまに安心して生活して頂けるよう、私たちも準備をして対応させて頂きます。

11日午後2時46分、三陸沖牡鹿半島東南東130キロメートル付近、マグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。この地震により、宮城県、福島県、茨城県、栃木県など広い範囲で強い揺れがありました。その後も余震や新たな地震が続き、12日午後4時前後には新潟県中越地方でもマグニチュード6.6の大きな地震がありました。一連の地震により沿岸部での津波や福島県の原子力発電所における放射性物質放出の事故で多くの犠牲者が出ています。

3月14日以降、電力不足に備えて計画停電が予定され、施設でも様々な準備を行いました。食事提供時間の変更、入浴時間の変更、エレベーター停止に備えたシヨートステイ利用者の送迎時間の変更、貯水ポンプ停止に伴う断水への対応など施設内は電気がないとどれだけの影響が出るのか身にしみてわかるきつかけにもなりました。

各ユニットでは吸引機の充電、お湯の準備、ペットボトルの湯たんぼ、ベッドのギャツジアップなどの準備をしました。

不在者投票

4月7日、新潟市の県議、市議を決める不在者投票を行いました。みなさん真剣な表情で候補者の名前を用紙に書き、自らの手で投票箱へ。



中郷屋「蓮照寺」のご住職より、彼岸の法要をして頂きました。3月11日に起こった東日本大震災で私たちが学ぶべきことや毎日を「お陰様」の心を持って生きて行くことの大切さなどありがたい法話を頂きました。利用者の皆さまは、真剣な表情でお経を読み、ご住職のお話を聞いておられました。

新施設長ごめいさし



白寿荘西施設長
田中 順一

常日頃より当施設のサービスをご利用頂きありがとうございます。また、地域の皆様から暖かいご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。

この度の東日本大震災で被災された皆様には、ご不自由な日々をお過ごしのことと存じます。心よりお見舞い申し上げます。

4月より白寿荘西の施設長に就任することとなりました。白寿荘西には、特別養護老人ホーム・短期入所生活介護・ケアハウス・訪問介護の事業を行っており、今年の5月で8年目を迎えます。

今後、これまで以上に地域の皆様が住み慣れた地域で安心と潤いのある生活を送れる良質なサービスの提供を目指し、職員と共に精一杯努めてまいりたいと思います。

これからも、地域との関わりを大切にし、地域社会に貢献していきたく思いますので、更なるご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

今、主婦の間で流行の家庭菜園!!



春の風が到来し、外出が増える季節がやってきました。そこで、外に外出するのもいいですが、いつも生活している所に花や野菜があるのも見る楽しみに繋がると思います。

去年は、キュウリがたったの1本しか実らず今年こそは何とか3本実るようにみんな育てています。去年はミニトマトに、いっぱい水をあげすぎてしまい、実が大きくなりすぎてしまいました。そんな話をしながら今年は、ミニトマトとキュウリ、花はミニひまわりとアサガオなど、さまざまな種を植えたので今から楽しみにしているご利用者の方々と会話が弾みました。これから、毎日水くれです!!

桜の貼り絵



季節が変わる時に、大きな紙に貼り絵をしています。春といえば、何だろうとみんな考えてながら、「やっぱり桜でしょ」となり桜の木のまわりにトキが飛んでいる貼り絵をすることにしました。各自担当し、折り紙をちぎってもらいました。「見ていると、簡単そうだけどなかなか面倒なのね」と笑いながら取り組んでいるご利用者の方がいたり、「どこかの展示会があったら賞ももらえるかな」とお話をしながらこつこつ取り組んでいます。

ご利用者の昔話

東日本大震災の被災者の皆様お見舞い申し上げます。

日本を、襲った大地震の余震がまだまだ続いています。ご利用者の一人の方がこんな話を聞かせてくださいました。

「昔の人はね、近所に大きな幹の大きな大木があって、地震があると、近所の神社にある大きな大木に逃げようねとご近所同士話し合ったもんだ。毎日、水筒に水を入れておいた。空襲や災害がいつあるかわからないが何かあったらすぐ逃げられるようにかばんに入れておいた。みんなが逃げる方へ逃げると小さい頃から教えられた。たまに、ご飯を食べる時に家族で災害があった時にどうするのか話し合った。近所の連携も大事だ。」とさまざまのことを聞かせてくださいました。

皆で話し合うこと、ご近所同士協力していくことの大切さを忘れずにしていかねければいけません。



3月3日 ひな祭り

ケアハウスでは、3月3日にひな祭りを行いました。お茶の時間にみなさん集まり、桜ゼリーを食べました。

4階にはとても立派なお雛様があります。毎年3月3日頃になると談話コーナーに飾られます。私の家にはこんなに大きなお雛様はないので毎年素晴らしいなと思いつながら見ています。皆さんもぜひ見に来てください。



出前をとりました

ある一日の昼食の様子です。お寿司と味噌汁、デザートにプリンです。お寿司の出前をとり、お味噌汁とプリンはユニットで作りました。

職員も一緒に出前をとり、皆さんと一緒に食べました。入居者の方と一緒に食事をする機会があまりないので、とても良い思い出になりました。

皆さんおいしいと大変喜んでおられました。



ケアハウス一般 おはぎ作り

理事よりもち米を頂いたと嬉しい連絡があり、ケアハウス一般の皆様にご相談しておはぎを作ることにしました。



2月12日、厨房から炊飯器やお皿、ボールやバット（野球ではありません）を借り、2時集合のはずが1時半には集まって、腕まくり。

昔取った杵柄：もち米を丸める人、あんこで包む人、きな粉をつける人、食べる人…と役割分担。楽しく作り、楽しく食べました。また次回を計画中☆

新職員紹介



平野 里子

3月中頃より、西のケアハウスでお世話になっております。「一期一会」「笑う門には福来る」たくさん笑って元気印でイケルよう、健康に気をつけて頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。